



健康推進課 ☎ 67♦1151



結核は主要な感染症

市民の皆さんの多くは「今、どうして結核の話なの?」とか「今時、結核なんて」と思っています。残念ながら、日本ではまだまだ結核は主要な感染症なのです。しかし、結核といっても以前とその状況は変わっています。患者の高齢化や重症発病の増加など結核の抱えている問題は多様化しています。

蒲郡市では、昨年3年ぶりに結核患者さんが増加し、愛知県全体でも増えました。(表)

また、ここ数年来、蒲郡市では高齢の方の結核が目立っています。昨年、昨年は患者の約半数が60歳未満の働き盛りの方でした。さらに、そのうちの多くの方が他の人へ結核を感染させる状態で診断(発見)されました。

正しい知識で「結核」を撲滅

結核患者発生状況

単位：(人)

	蒲郡市		愛知県	
	16年度	17年度	16年度	17年度
新たに結核と診断された患者数	9 (6)	15 (8)	806 (362)	1,075
上記のうち、たんの中に見つかった患者数	5 (2)	11 (5)	372 (181)	395

※()内は70歳以上の患者数、17年度の愛知県の数値は、名古屋市を除いた概数



結核は空気感染

結核は結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。結核菌は、結核の患者さんがせきやくしゃみをしたときに、飛び散るシブキの中に含まれています。このとき、空気中に漂った結核菌を吸い込むことにより、健康な人に感染します。しかし、感染しても必ず結核になる(発病する)とは限りません。また、発病しても専門医にかかり、結核の薬を毎日かかさずに飲めば治ります。



気になるせきと早めの受診

結核の初期症状は風邪の症状と似ています。せき、たん、発熱、けん怠感、胸痛といった症状です。しかし、高齢者の方の場合は、症状がわかりにくいこともあります。このような症状や体調の悪さが2週間以上続く場合は、自己判断せずに、早めに医療機関にかかりましょう。



身近な人が結核と診断された時

身近な人が結核と診断された場合、周りの人は保健所や医療機関で胸部X線検査などを受けることをお勧めしています。若い人の場合は、ツベルクリン反応検査で結核の感染がわかります。また、最近では、年齢に関わらず(5歳以下の乳幼児を除く)血液検査でもわかるようになってきています。



乳児期早期のBCG接種

BCGは結核の免疫をつけるための予防接種です。これにより重



症化を防ぐことができます。BCGは肺結核のおよそ50%を防ぎます。特に、重い症状をおこす結核性髄膜炎や粟粒結核はおよそ80%以上を防ぎます。

乳幼児が結核に感染すると、こうした生命にかかわる重症な結核になることが多いので、生後できるだけ早い時期のBCG接種が望まれます。

蒲郡市では生後4カ月前後にBCG接種の個別通知をします。この機会を逃さずに接種しましょう。



規則正しい生活と健康管理を

もし、私たちが結核に感染しても、からだの抵抗力が高ければ発病を防ぐことができます。栄養をとる、体力をつける、休養をとるなどふだんから健康生活を心がけ、結核を発病させないからだとつくりましょう。

相談・問合先

豊川保健所蒲郡支所地域保健課

蒲郡市浜町4-2

☎ 69♦31156

気軽にご相談ください。